

2022年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲 Flute ワンポイント・アドバイス

吹部
Navi

I やまがたふあんたじい～吹奏楽のための～

作曲：杉浦 邦弘

なんといっても冒頭のフルートソロ。この曲のモチーフとなっている民謡のように、ろうろうと歌い上げたいですね。記譜上のリズムを参考にしつつも、拍に追われすぎずに。特に、連符のフレーズは均等に吹くよりも、やや重めの動きだから加速していくように吹くのがおすすめです。長いソロですのでフレーズに濃淡をつけて、山も大小あった方が単調にならなくて良いでしょう。それぞれのソリストらしい味わいのあるソロに仕上げてください。中盤以降、p でスタッカート音符は、極力、鋭く短く。スラーのついた ff とのメリハリを存分に表現して。所々、スパイスの効いた技巧的なフレーズがありますので、部分練習をきちんとしましょう。

II マーチ「ブルー・スプリング」

作曲：鈴木 雅史

ポイントは、しばしば登場するトリル。その音で上手く拍に収めて次のフレーズに入るのは、本当に難しいですね。テンポにのり遅れないように、トリルからの繋がりを取り出して部分練習しましょう。また、全音トリルなのか、半音トリルなのか、記譜を確認し、実際の響きと照らし合わせて下さい。運指は合っていますか？トリル特有の運指も、要確認です。Fl. と Picc. はほとんどがユニゾンです。もちろん音程はあわせるのが基本ですが、場面によっては音程にこだわりすぎて弱腰にならず、浮き立つようにキラキラと、元気な音色でマーチに華を添えたいですね。（目安は中音域 G より上辺りの音域）

III ジェネシス

作曲：鈴木 英史

沢山のパートが同じリズムを奏でていますのでシンクペーションのリズムや、付点4分音符と8分音符（又は16分音符）の組み合わせのリズムにおいて、伸ばした音符の長さを正確に。（つつい気持ちよくてたっぷりしてしまいがちです・・・）また、リズムの歯車が噛み合うよう前後の繋がりを意識して。25～28小節のフレーズは十分に歌いたいのですが、タイのかかる音をきちんと処理して次の音に入らないと、ベタッとした印象になるので注意。刻々と変化する和声を感じとりながら、旋律の歌い方を工夫できるとよいですね。17小節 3拍目の8分音符は、長さや発音の仕方など、選択肢が色々ありますので、皆で奏法を統一しましょう。

IV サーカスハットマーチ

作曲：奥本 伴在

トリルから次のフレーズへの入り（しかもシンクペーションのリズム！しかも F-G トリル!!）半音階と、練習ポイントがいくつもある冒頭からの6小節間は気が抜けません。メトロノームの出番ですね。テンポを日々変えながら地道に練習。15小節からの裏打ち16分音符や、同音連打の16分音符はダブルタンギングで、そして8分休符には緊張感を持たせることで軽快な印象に。47小節～50小節の美しい旋律は、ぜひ Picc. の美しい音色を響かせられるとよいですね。ここは FL が音程を寄せて、Picc. に伸びやかに表現させてあげましょう。

V 憂いの記憶－吹奏楽の為の

作曲：前川 保

他のパートのみならず、同じパート内でも、それぞれ違うリズムや旋律なので誰かをあてにすることはできません。噛み合っているのが不安になりますよね。まずはしっかり読譜し、音やリズムを正確に把握することが大切です。休符で見失いますので、休符の数え方を練習しましょう。

同じ音のロングトーンの中で、強弱の差をつけるには、クレッシエンドでは、口の中を段々広くして割れないように、デイミヌエンドでは段々狭くして音程が下がらないように。音の跳躍が含まれるフレーズもありますので、跳躍練習を。特に、上から下に下りるためのお腹の支えを意識して。